

「災害時における LP ガスの供給に関する協定書」締結にあたり

(ご挨拶)

協定書の締結にあたりご挨拶を申し上げます。

LP ガスについては、先の東日本大震災において、避難所における炊き出し等を含め多くの被災現場で活用された事例があり、行政の立場からも災害時におけるライフライン確保のため、LP ガス業界に対し大きな期待が寄せられております。

業界としてこのような社会の要請に応えていくことは当然のことではございますが、いざという時点において、事前の取り決めがない状態では、スムーズな協力体制がとれず、結果として十分な貢献ができないということが考えられますので、災害時における協力体制の構築が求められていたところでございます。

本日、ここに大宜味村との「災害時における LP ガスの供給に関する協定」が締結できたことは、宮城村長はじめ役所関係者の大宜味村における防災対策強化の取り組みの結果であり、今後の村民のライフライン確保のため大変意義深いものであると考えております。

当協会としてもその期待に極力応えられるよう、組織内で本協定の周知徹底を図り、会員事業所の協力を得ながら、我々業界の持つ独自性を活かした活動を展開し、地域社会に貢献していく所存でございます。

今後とも災害対策等に関わる意見交換を含め、関係を強化し、災害時における村民生活の安定に寄与して参りたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。

以上、協定締結にあたってのご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人沖縄県高圧ガス保安協会
会長兼LPガス部会 部会長 渡口彦則